



このたびは、富山県立富山商業高等学校のホームページをご覧いただきありがとうございます。

本校は120年を超える長い歴史の中で、お陰様で、社会から大きな信頼を寄せられ、「富商なら間違いない」と言われるような、いわゆる「富商ブランド」を築き上げています。

生徒たちには、本校での3年間の生活を通じて「富商ブランド」を担える人材に育ててもらいたいと思っています。ここにその育成方針をお示しし、学校の説明とご挨拶に代えさせていただきます。

本校には、「AKB（あき人びと）で育て、AKB（あき人）で送り出す」というキャッチフレーズがあります。その意味するところは次のとおりです。

※あき人：商人 「あき人の道 きはめつつ」（本校校歌第2番歌詞）より



第41代校長 仲井 章

◎「AKB（あき人）で育てる」とは？

本校には服装や髪型に関する独自の校則があります。この一見厳しく思える規則を当たり前のこととして受け入れ、確実に守ることができるからこそ、本校生徒は、「富商なら間違いない」と、社会性や協調性について社会一般から太鼓判を押されているのだと思います。また、本校では全てのコミュニケーションの基本である挨拶をこの上なく重視しています。校則の遵守、挨拶の徹底、基本的な生活習慣の確立といったバランスのとれた人格の育成方針を、代表して「挨拶」と表現し、これが1番目のAKBの「A」です。

次に、英語、数学、国語、理科、地歴・公民、体育、家庭科などの普通教育やホームルーム、生徒会活動、学校行事などをベースとして、商業科としてビジネス教育を施し、その成果を測る尺度として商業をはじめとした各種資格の取得に力を入れています。こうした商業等の専門教育の全体を、代表して「検定」と表現し、これが2番目のAKBの「K」です。

最後に、全国を常に視野に入れ、日々真剣勝負で鍛錬に励む「部活動」です。これが3番目のAKBの「B」になります。以上の3つが揃って、「A「挨拶」K「検定」B「部活動」で育てる」、ということです。

そして、これらのAKB（＝本校の教育活動の全て）で培った資質、能力を総動員し、いわゆる富商教育の集大成として取り組むのが、毎年11月に行っている生徒販売実習の模擬株式会社（TOMI SHOP）です。各生徒は、学年を問わず、そこまでに到達した最高のおもてなしを披露することが求められます。

◎「AKB（あき人）で送り出す」とは？

AKBで育てた結果、生徒たちからするとAKBで学んだ結果として、卒業するまでに3つの力を身に付けることとなります。その3つの力とは、まずはAKBの「A」に当たる「愛され、信頼される人間力」です。この力は、基本的な生活習慣、コミュニケーション能力、自主性、協調性、奉仕の精神やおもてなしの心を指しています。

次にAKBの「K」の「課題解決力」です。この力は、課題に直面した際に問われる、創造力、粘り強く挑戦する心、コミュニケーション能力、協調性などの資質を意味しています。

最後に、AKBの「B」に当たる、商業高校の生徒として当然身に付けるべき力の「ビジネスの理解力と実践力」です。これら3つが合わさって「AKBで送り出す」（＝A「愛され、信頼される人間力」K「課題解決力」B「ビジネスの理解力と実践力」を身に付けさせて送り出す）ということになります。本校では、これら3つの力を「富商スキル」と呼んでいます。

ところで、在校生の日頃の在り方や卒業生の活躍の様子を観察すると、共通した心の在り方が見えてきます。それは、「社会を支える者としての自覚を胸に、人との関わりを大切に、周囲の喜びを自らの喜びとし、人から信頼されることに生きがいを感じる心」です。これを本校では「富商マインド」と呼んでおり、この「富商マインド」と「富商スキル」が合わさったものが「富商ブランド」なのです。

富商の卒業生は、このように「AKBで育て、AKBで送り出す」という方針で指導された結果、校訓である『自主協調』『明朗誠実』『進取敢闘』の精神に富み、生涯にわたって愛と正義の理想を追求する高い人格を有する人（＝富商ブランドを担う人材）となって社会に羽ばたいて行きます。そして、社会の信頼に応える活躍をすることによって富商ブランドへの信用をますます高めてくれています。

この学校には、どこを見ても一流を目指してひたむきに努力している生徒たちがいます。そして、伝統を守り抜こうとする生徒たちの並々ならぬ気迫を感じる場面にあふれ、挨拶や身だしなみの指導が徹底された学校です。この富山商業高校に入学した生徒たちは、このような校風に浸り、大きく成長できることを喜びと感ずるとともに、歴史と伝統ある富山商業高校の生徒であることを意気を感じているはずで、そして、その、意気を感じる強い気持ち、生徒たちにとって高校生活3年間の自己研鑽の原動力となるのです。そして、その行き着く先には、「富商ブランド」を担うにふさわしい、たくましく成長した生徒たちの姿が保証されています。

本校のこのような教育方針、教育活動に対し、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。